

# 平成30年度 生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習③

- 1 趣 旨 児童養護施設で生活する子供達をたちを対象に、自然体験活動や生活体験を通して、「生活・自立」を支援する取組を行うことにより、子供たちの基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、自然を愛する心を育成する。
- 2 期 日 平成30年8月26日（日）～27日（月） 1泊2日
- 3 対象者 児童養護施設「三州原学園」で生活する小・中学生
- 4 募集定員 なし
- 5 参加者 14人（小学生9人 中学生2人 施設指導者3人）
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員

## 7 日程と主な活動

《1日目》 8月26日 (日)	9:45	10:00	11:20	12:00	13:30	16:30	20:00	21:00
	《生活》 桜島フェリー乗船	自然の家へ移動準備	出会いのつどいオリエンテーション	屋食（レストラン）	《体験》 ペタンク サンドアート	《生活》 夕食作り 夕食 後片付け 入浴	《体験》 星空観察 自主学习	一日のまとめ就寝
《2日目》 8月27日 (月)	6:30	9:00	9:40	12:00	12:40	13:20	14:15	
	起床	《生活》 健康観察 朝食（レストラン）	垂水市漁協に移動	《体験》 垂水市漁協 カンパチ養殖場 漁船乗船体験 えさやり体験	屋食（漁協食堂）	アンケート 振り返り 別れのつどい	桜島港に移動	《生活》 桜島フェリー乗船

## 8 事業運営について

- (1) 鹿児島市の児童養護施設「三州原学園」で生活する子どもを対象に体験活動を行う中で、あいさつや返事などの基本的な生活習慣の確立や自立心の育成に貢献できるよう心がけた。
- (2) 漁業体験活動や夕食作りなどの体験活動を行う中で、子どもたち自身が意欲的に活動し、達成感や満足感を味わうことができたよう工夫した。

## 9 参加者の感想

- カレー作りで、男女仲良く、協力してできたので楽しかった。（小学生）
- カンパチのえさやりは初体験でドキドキしたけれど、みんなで楽しめた。（小学生）
- サンドアートで、集中して真剣に取り組む姿に、子どもの新たな一面を発見することができた。（指導者）
- タクシー、フェリー、バスなど、たくさんの交通機関を利用でき、子ども達もよい経験をする事ができた。（指導者）
- めったに体験できないことをたくさん経験させていただいたことで、子ども達は普段見せない表情や姿を見せていた。

## 10 成 果

- 子ども達が、多くの体験活動を通して、自然を身近に感じたり、仲間と協力することの心地よさを感じたりすることができた。
- 活動の流れを打合せし、資料をもとに事前指導をしていただいたことで、子ども達が見通しをもって落ち着いて活動することができた。
- 今回参加された施設を含め他施設に対し、子どもたちの基本的な生活習慣の確立や自立心の育成のために体験活動の必要性を引き続き呼びかけていく。

